

池ノ原園地

池ノ原固有の風景はすべて運によるものである。明治時代（1868年 - 1912年）には雲仙には多くの牧草地があったが、羊たちは地域原産のツツジを食べることはできなかった。羊たちは他のものは何でも食べることができたので、この咲き誇る低木は地域一帯に広がり、火山基盤の酸性の土壌で生い茂った。今はここで羊の育成はされていないが、過去を記憶するため、またその美しさから、地元のNPOはツツジを維持する対策を講じている。

雲仙で最も名高いツツジは5月に咲く「ミヤマキリシマ」で、山腹はピンク、紫、赤の花々で覆われる。別の種であるヤマツツジは、赤みがかったオレンジの花を6月に咲かせ、少なくとも数カ月は美しい花々を咲かせ続ける。

園内を吹き抜ける石畳の遊歩道は比較的平坦なので、家族で散策するにはもってこいだ。矢岳(970メートル)、妙見山(1,333メートル)、平成新山(1,486メートル)を一望することができる。